

学 校 だ よ り



さあ、1学期のラストスパート



梅雨になり、空模様と気温を気にしながら、プール水泳の学習を行っています。1学期も一か月を切り、学習等のまとめをしていく時期になりました。気持ちをもう一度引き締めて、学校生活をおくっていききたいものです。

学力向上の取り組み（算数科）の紹介です。

校長 梅原 直人

本校は「大阪市学力向上推進モデル校」の指定を受けて、算数科を中心とした授業研究を行っています。算数は系統性の強い教科です。既習事項を使えば、新しい知識・技能や考え方を、子どもたち自身が創りだしていけるという特性があります。よって、算数の授業では「創造力」を養うことを意識した授業展開を心がける必要があります。教材研究と授業改善を進めています。

新しい問題との出会いでは、ノートに書かれた既習事項を見比べ、「今まで習ったことは、使えないかな？」と考えることにより、「この方法が使えるそうさ。」とか、「この問題は、ここの数値が変われば解けるのに。」と、子どもたちは自発的に本時の学習課題をつかみ取っています。

算数科の学習における「数学的な見方・考え方」とは「事象を数量や図形およびそれらの関係などに着眼してとらえ、根拠をもとに筋道を立てて考え、統合的・発展的に考えること」です。子どもたちが「こうしたらできそうさ」と解決の方向性を立てることは、「数学的な見方」にあたります。4年生の「角の大きさの表し方を考えよう」では、黒板に書かれた大きさの異なる5つの角を「大きい順に並べましょう。」と問題が出されました。たちまち「できた。」という声があちこちで上がりました。「どうしてそう考えたの？」という発問に、「直感でわかった。」「一目でわかった。」と子どもたち。「どのようにして順番を決めたか、みんなにわかるように説明して。」の発問に、「ウの角が一番とがって細い。他の4つの角の中に入るから、一番小さい。次に・・・。」と言うように、とても「論理的に大小関係を決定する考え方」を発表していました。直感を言語化し発表する、自分の言葉で文章化することは、「数学的な考え方」にあたります。こうしてできた考え方をクラス内で共有させ、さらに交流させる。これら一連の取り組みが「主体的・対話的で深い学び」の授業推進につながっています。子どもたちの主体的な学びと元気な発表があふれる今川小学校。各教室で授業を見学すること、子どもたちのがんばりを見ることが大好きです。

学期末懇談会

8日（月）・9日（火）・10日（水）・11日（木）の予定で学期末懇談会を予定しております。短時間ですが、1学期のお子さんの学校生活の様子をお話したいと思っています。

個人宛の案内は先日配付しました。ご確認ください。

なお、いつもお願いしておりますが、入校証を首からかけて、徒歩でお越しください。道路等に自転車をとめることは地域の方への迷惑になりますので絶対におやめください。

なお、12日（金）も、給食終了後、午後1時30分頃下校になります。



今川小学校ホームページ

学習の様子や行事などの写真を随時更新しています。林間学習の様子もリアルタイムでアップする予定です。ぜひ、ご覧ください。

今川納涼祭り

8月3日（土）4日（日）の2日間、今川公園で今川納涼祭りが開かれます。今年も、たくさんのお店が出て、ステージも工夫される予定です。子どもも、大人もたくさんで参加してお祭りを盛り上げましょう。

